

## 質疑

### 事業者応援持続化給付金

**Q** 角野議員 売上げの額や率が一定以上減少している事業者が対象であるが、その根拠は。

**A** 産業文化部長 国の持続化給付金は、対象となる売上げ減少率が高く、該当しない事業者も多いため、幅広く支援できるように売上げ減少率を下げた。

売上げ減少額の設定は、給付額より売上げの少ない事業者への支援は難しい。

**Q** 中谷議員 市税に滞納がある場合、給付金の対象にはならないが、滞納せざるを得ない苦しい状況の事業者こそ支援が必要ではないか。

一律に切り捨てるのではなく、困っている事業者に寄り添い、対応するべきではないか。

**A** 産業文化部長 市税に滞納がないことを給付条件としているが、コロナの影響で事業収入が減少した場合、徴収猶予が受けられる。猶予を受けた人は滞納には該当せず、給付対象となる。

▼議案第58号 モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算の認定

令和2年度の下水道事業会計、モーターボート競走事業会計の決算に伴う利益剰余金を剰余金処分計算書案のとおり処分することについて、議会の議決を求め、併せて令和2年度決算を認定に付すもの。

▼議案第59号 一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ12億329万6千円を増額し、総額575億9388万7千円とする。

▼議案第60号 介護保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ3億4万9千円を増額し、総額94億2604万9千円とする。

▼議案第61号 モーターボート競走事業会計補正予算(第2号) 収益的支出500万円、資本的支出2080万円をそれぞれ増額する。

▼議案第62号 国民健康保険診療所条例の一部改正 本島診療所の移転に伴い、条例に定める診療所の位置を変更する。

▼議案第63号 コミュニティセンター条例の一部改正 垂水コミュニティセンターの新築に伴い、センターの位置、室名や使用料を変更する。

▼議案第64号 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正 消防団員の入団促進と継続的な活動維持を目的に、報酬の額を引き上げる。

更仮契約を締結したため、議会の議決を求めるもの。

▼議案第67号 指定管理施設における指定期間の延長(生涯学習センター) 生涯学習センターの使用継続に当たり、令和4年1月から3月までの間、現在の指定管理者が施設を管理するため、議会の議決を求めるもの。

▼議案第68号 市有財産の無償譲渡(はらだこども園貸付建物) 社会福祉法人誠心会に無償貸付けを行い、はらだこども園として運営を行っている建物や附帯設備を同法人へ無償譲渡するため、議会の議決を求めるもの。

▼議案第69号 市有財産の無償貸付(旅客船兼自動車航送船「しわく丸」) 備讃フェリー株式会社に無償貸付けしている「しわく丸」の無償貸付期間を2年間延長するため、議会の議決を求めるもの。

▼議案第70号 訴えの提起 公務中の交通事故で断続的に病気休暇を取得している本市職員の給与について、訴えにより事故の相手方に損害の賠償を求めため、議会の議決を求めるもの。

▼議案第71号 一般会計補正予算(第6号) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛等の影響により、利用者的大幅な減少が見られる市内公共交通の維持・確保を図るため、公共交通運行継続支援事業補助金1250万円を追加する。

▼諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦

# 一般質問 14人の議員が市の考えを問う

質問者・項目

太字の項目は本文中に要約文を掲載

## 香川 勝

- ①医療的ケア児支援法②情報セキュリティ対策③循環型経済とプラスチックごみ対策

## 角野仁美

- ①スポーツ振興②女性が住みやすい魅力あるまちづくり③待機児童

## 川田匡文

- ①通学路の安全対策②丸亀城の整備・活用③四国新幹線

## 守家英明

- ①地球温暖化対策②廃棄物処理③通学路の安全対策④地域学校協働活動

## 竹田英司

- ①スポーツ少年団②部活動の充実③インターハイ

## 横田隼人

- ①学校、子育て施設でのコロナ対策②0〜2児への支援③学校給食の無償化④学校体育館のエアコン整備

## 渡邊一馬

- ①医療的ケア児支援法②地域完結型経済③家族のコロナ感染と介護サービス

## 内田俊英

- ①松永市政の政策立案・実現力②新丸亀教育③災害対策

## 横川重行

- ①市長公約(公園)②浸水対策③コロナ対策(学校・ワクチン接種・自宅療養等)

## 大西 浩

- ①新型コロナウイルス感染症対策

## 東 由美

- ①中津万象園②化学物質過敏症③離島振興(手島自然教育センター・定期船)

## 神田泰孝

- ①新型コロナウイルス感染症対策②水難事故対策③スクールソーシャルワーカー④庁舎西側の活用⑤選挙管理委員会のツイッター活用

## 水本徹雄

- ①パブリックコメント②つながりの場づくり③孤独死・孤立死の防止④新市民会館

## 中谷真裕美

- ①新型コロナウイルス感染症対策②国保税・介護保険料の減免③18歳までの医療費無料化④市民活動支援

## 在宅ケアの限界に支援を



香川 勝 議員



みんなの力が必要です

医療的ケア児の在宅医療では、医師の指導のもと、たんの吸引や経管栄養などを家族が行っている。家族の慢性的な疲労から、家族へのケアが必要である。在宅ケアへの限界を防ぐための入院、いわゆるレスパイト入院をどう考えているか。また、子供たちや家族への支援として、医療や福祉、保健、育児支援の連携のワンストップ窓口の設置は。



## A

健康福祉部長 レスパイト入院は、介護力の限界

を超えてしまうことを予防するため、重要かつ必要な制度であると承知しているが、設備等の違いによる受け入れ態勢の相違があり、環境を整えることが必

要である。また、現在、庁内関係部署、学校、事業所など、必要

な機関と連携し、市民からの相談に応じており、医療的ケア児のみに特化した対応ではなく、個々の相談に応じて対応していきたい。



## 無料の生理用品 市の施設から常設を



角野仁美議員

Q

トイレに生理用品を常備し、無料で提供してはどうか。個室内に小型機器を設置し、流れる広告動画の収益をもとに、利用者がナプキンを受け取ることができるサービスがある。他県では、市役所や公共施設等で導入されており、女性の負担軽減やジェンダーギャップという不均衡の是正に寄与すると考える。女性が住みやすくなる施策の一つとして、本市でも取り入れてはどうか。



女性の住みやすいまちに

A

**総務部長** 提案は、社会問題となった生理の貧困に対する解決策の一つと認識するが、利用者の所得に関係なく無償配布することは、生理用品の常備が一般的な認識とは言えない今、難しいと考える。

しかし、広告収入による無償提供など、事業者によるサービスの提供は、公費を支出することなく提供が可能となる。先進自治体の状況を調査し、市役所本庁舎から導入を検討していきたい。

## 安心して通える 通学路に



川田匡文議員

Q

千葉県八街市で、下校中の小学生が大型トラックにはねられ、死傷する事故が起きた。運転手の危険運転が原因だが、以前から事故の危険性を指摘されていた道路であったそうである。あるアンケートによると、県内で事故の可能性が高い危険箇所は1100か所以上、市内では約150か所という結果であった。本市での公表や周知、今後の整備計画は。



子どもたちを守るには

A

**教育部長** 現在、危険箇所として、99か所学校から報告を受けている。そのうち、合同点検済みが21か所、点検の予定は26か所であり、残り52か所はこれまでに確認、把握し、既に県や市、警察、学校が対応している。

今後、地域やPTAの意見を加えた最終確認や追加箇所の報告を受け、再度関係機関で協議し、ハード・ソフトの両面から対応を進め、児童、保護者への安全指導を行っていきたい。

## 2市3町で 温暖化対策を

Q



守家英明議員

3月2日、本市はゼロカーボンシティを宣言した。取り組みを進めるには、市町単独での目標達成は難しいため、近隣市町が共通認識を持ち、活動を進めるべきである。中讃2市3町でゼロカーボンシティの実現を目指すべきではないか。



温暖化防止 力を合わせて

A

**市長** 現在、環境施策として、中讃2市3町で脱炭素社会の推進につながる事業について協議を行っている。各地域の現状や課題を共有し、圏域住民や事業者に取り組みの重要性を粘り強く発信し、環境意

識の醸成や共通認識の向上を目指すことが重要である。

各自自治体の考え方によるが、来年度から開始する第3次共生ビジョンの進捗を図る中で、状況に応じて首長とも協議し、検討していきたい。

## 子どもたちを 夢の舞台へ

Q



竹田英司議員

2022年、香川県で全国高等学校総合体育大会が開催される予定である。地元子どもたちを支援するため、部活動に関する予算の拡充が必要ではないか。用具等の経費を学校予算に上乗せするなど、市としての支援策は。



思い切り練習できる環境を

A

**教育長** 毎年、校外施設への借上料、県大会への交通費等や外部講師謝金など、部活動に必要な経費として約1千万円を計上している。また、活動用具等は、学校に配分してい

る予算で計画的に購入している。

部活動の教育的価値は高いため、今後も予算の有効活用や指導体制の充実に努めるなど、支援を続けていく。